



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2008. 12 月号

寄贈品コーナー

「平塚海岸のウミガメ」

期間：12月3日（水）～25日（木）



孵化したウミガメの卵の殻

2008年8月中旬、平塚海岸から約100匹のアカウミガメの子どもたちが、海に向かって出発しました。上の写真は、その子ガメたちの残した卵の殻です。

この卵は、6月の中旬に平塚海岸に産卵されたものです。ふ化後の調査で、卵は全部で141個あり、そのうちの103個がふ化に成功していたことがわかりました。ふ化率は76.9%で、これはアカウミガメのふ化率として、ごく一般的な値です。

平塚海岸でのアカウミガメの産卵が確認されたのは、1996年以来12年ぶりです。今年（2008年）は全国的にアカウミガメの産卵が多く報告されました。神奈川県内でも他に、藤沢や小田原の海岸で産卵が行われました。平塚海岸に産卵された卵の殻と未ふ化の卵、それからふ化したものの砂からはい出せず、死んでしまった個体（1個体）は平塚市博物館で資料として保管しています。今回の展示ではそれらの資料を紹介します。



巣の中に残っていた子ガメ

産卵巣の調査の際に砂の中から救出されました。このあと海に放しましたが、砂の中から外へ出てこれなかった個体なので、この後、厳しい自然の中でどれだけ生きられるのかわかりません。写真の手は大人の女性のもので、子ガメの小ささがわかります。

第100回記念特別展シンポジウム「金目川を語る」開かれる！

11月16日、特別展「金目川の博物誌」の関連行事として、シンポジウム「金目川を語る」を開催しました。会場は約100名の来場者で大盛況でした。

シンポジウムは、前半の個別報告と後半の全体討議の二部構成で、第1部は4名のパネリストが報告をしました。

地質の森学芸員「金目川の流路変遷－とくに中世における金目での流路変更－」では、地質学の知見に加え、歴史学や考古学など人文分野の学問成果も盛り込み、金目川が南金目の大堤から東方へ流れるのは人為的な改修と考えられ、その年代は中世の15世紀ではないかと提唱しました。

歴史の早田学芸員「治水と利水をめぐる村々の結びつき」では、近世の金目川通り二十八ヶ村組合を例に挙げ、堤防修復などの治水事業が幕府から義務づけられた公的な結びつきであるのに対し、堰普請など治水に関する作業は受益する村々が自発的に行うという大きな違いがあることなどを指摘しました。

金目エコミュージアム副委員長・同歴史文化部会長で、北金目在住の柳川勝正氏「金目川の思い出」では、昭和20年に大堤が決壊して水浸しになった状況や、水防作業を通して体験した水の恐怖を生々しく語られました。

金目川水系流域ネットワークのリーダーである柳川三郎氏は「キラキラ光る川の流れを」と題し、河川の水温調査・アユの生息調査・観察会の開催などネットワークの活動を紹介され、川への思いを熱く語られました。

後半の全体討議では、民俗の浜野学芸員が司会を務め、考古の明石館長と生物の松本学芸員もパネリストに加わり7名で行いました。討議は、①金目川の流路変遷、②治水と利水、③水系の自然環境の3テーマで構成しました。とくに、①金目川の流路変遷では、前半の報告に基づいて各パネリストが大堤の人為的改修についてコメントを述べ、問題意識を深めることができました。全体として内容が多岐にわたり十分に意を尽くすことはできませんでしたが、会場からも活発な意見や質問がなされ、関心の高さがうかがえました。

異分野の学芸員が同一のテーマで語り合うシンポジウムは博物館で過去に例がなく、今回のように“学際的”な広がりを持たせることで、異分野への関心が高まり、互いに学び合うことができました。このシンポジウムは、平塚市博物館が総合博物館であることを改めて認識することができた、100回記念にふさわしい催しであったと捉えています。



体験学習「お飾りを作ろう」 参加者募集！

日時：12月14日（日）午後1時～4時

しめ飾りは、お正月に迎える神様（歳神様）の神域を清浄に保つために飾ります。お正月は歳神様が各家を訪れ、私たちに一年の幸いを授けてくれます。そこで、きれいに大掃除をして、しめ飾りをして、歳神様を迎える準備を整えて待つのです。

12月14日の体験学習「お飾りを作ろう」では、今年収穫した稲ワラで、一文（いちもん）飾り、輪飾り、玄関飾りの3種類を作る予定です。一文飾りと輪飾りは平塚の伝統的なお飾りです。玄関飾りは、開き戸・ドアの玄関が増えたことにより、戦後になって一般に飾られるようになった種類です。

しめ飾りは、注連縄に装飾を施したものであり、基本は縄です。初めての方は、講師とスタッフが縄のない方から手取り足取り指導しますので、大丈夫です。手作りのお飾りで新年を迎えてみませんか。



—昨年のお飾りを作ろうの様子

参加ご希望の方は、往復ハガキに住所・氏名・電話番号を明記してお申込みください（12月8日必着。家族は1枚のはがきに連名可）。定員：30人

☆☆ 今月のプラネタリウム ☆☆

「2009年の天文現象」



12月6日（土）～2月1日（日）
毎週土・日曜日 午前11時、午後2時開始！
観覧料100円（中学生以下無料です）



1997年3月9日の部分食

2009年のハイライトはなんといっても7月22日の皆既日食でしょう。とは言うものの、実は平塚ではブンスヨク「部分食」なのです。

日本で見られた皆既日食は46年前、1963年に北海道の知床などで見られて以来なのですが、今回も皆既日食が見られるのは、奄美大島やトカラ列島、屋久島、種子島の一部、硫黄島など、南の島に限られてしまい、平塚では部分食が見られるのみです。そうはいつても太陽の75%が月に隠される、深い食分の日食です。楽しみなのは確かでしょう。

2009年は日食以外にも今冬から春に西空で輝く金星、細くなった環がくしダンゴ状態に見える土星、秋の南天に輝く木星、流星群も見逃せません。

2009年の天文現象、見どころを一気にご紹介します。

3	水	☆ 寄贈品コーナー「平塚海岸のウミガメ」 ～12月25日まで	展示室1F
4	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室
5	金	古文書講読会	講堂
6	土	☆ プラネタリウム「12月の星空ナビ」	プラネ
		☆ プラネタリウム「2009年の天文現象」 ～2月1日まで	プラネ
		漂着物を拾う会	虹ヶ浜・科学室
7	日	地質調査会	屋外
		平塚の古代を学ぶ会	講堂
		水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
11	木	石仏を調べる会	特別研究室
12	金	古文書講読会	講堂
13	土	古代生活実験室	科学室
		星まつりを調べる会	特別研究室
		地質調査会	特別研究室
14	日	水辺の楽校生きもの調べの会	科学室
		○ 体験学習「お飾りを作ろう」	講堂
17	水	民俗探訪会	特別研究室
		裏打ちの会	科学室
18	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室
20	土	祭囃子研究会	講堂
		天体観察会	屋上・科学室
21	日	◎ ろばたばなし	展示室民家
		相模川の生い立ちを探る会	西桂町
27	土	地域史研究ゼミ	特別研究室
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室

4	日	☆ 寄贈品コーナー 「平田忠心さんと大雄山平塚復興講」展	展示室1F
8	木	石仏を調べる会	特別研究室
10	土	☆ プラネタリウム「1月の星空ナビ」	プラネ
		古代生活実験室	科学室
		地質調査会	特別研究室
11	日	水辺の楽校生きもの調べの会	科学室
15	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室
16	金	古文書講読会	講堂
17	土	天体観察会	屋上・科学室
		漂着物を拾う会	虹ヶ浜・科学室
18	日	◎ ろばたばなし	展示室民家
		地質調査会	屋外
		天体観察会	屋上・科学室
		平塚の古代を学ぶ会	講堂
21	水	民俗探訪会	特別研究室
		裏打ちの会	科学室
22	木	石仏を調べる会	特別研究室
23	金	古文書講読会	講堂
24	土	星まつりを調べる会	特別研究室
		地質調査会	屋外
		天体観察会	屋上・科学室
		地域史研究ゼミ	講堂
25	日	◎ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
		◎ 星を見る会	屋上・科学室
30	金	◎ 天体観察会	屋上・科学室

<参加者募集>

○ 体験学習「お飾りを作ろう」

お正月の一文飾り・輪飾り・玄関飾りを作ります。
 日時：12月14日(日) 午後1時～4時
 場所：博物館講堂
 参加：往復ハガキに住所・氏名・電話番号を記入してお申
 込みください(12月8日必着)。
 定員：30人

◎ ろばたばなし

民家のいろいろばたで昔話を聞いてみませんか。
 日時：12月21日(日) (1)午後1時20分～ (2)午後3時～
 場所：展示室民家
 参加：自由

<年末年始の休館>

博物館は12月29日～1月3日まで休館となります。
 来年は1月4日(日)より開館します。

<展示とプラネタリウム>

☆ プラネタリウム「12月の星空ナビ」

今月の天文現象の見どころを紹介します。
 日時：12月6日(土) 午後2時
 観覧料：100円(中学生以下無料)
 (通常のプラネタリウム投影は毎週土、日曜午前
 11時、午後2時)

☆ プラネタリウム「2009年の天文現象」

来年は世界天文年。日食など注目の天文現象を一気に紹介
 します。
 投影日：12月6日(土)～2月1日(日)迄の土・日曜日の
 午前11時と午後2時
 観覧料：100円(中学生以下無料)

☆ 寄贈品コーナー「平塚海岸のウミガメ」

平塚海岸で産卵されたウミガメの卵について展示します。
 日時：12月3日(水)～12月25日(木)迄
 場所：展示室寄贈品コーナー

☆：展示、プラネタリウム ○：申込制 ◎自由参加 無印：年間会員制